

防災訓練

19.2.19 ハイブ長岡

19.2.20 荻野町下柳線街路



合同防災訓練を実施

市民の安全・安心を願って

副理事長・川東方面隊長 小林 謙 郎

2月19日、20日の両日にわたり、長岡市と長岡市公園緑地協会合同による防災訓練が行われました。昨年9月に協会の「公共緑地災害対応規定」が改定され、長岡市、各関係機関と協会が密に連携して災害に対応することと定めてから、初めての合同訓練となります。

今回は、協会の災害に対する認識を高めること、正確な情報の収集と指揮の伝達、古くから伝わる造園手法を駆使した施工技術の継承を目的として、訓練に臨みました。

実地訓練当日は長岡市役所職員、長岡警察署、東北電力、町内会の皆様の立会のもと、総勢70名以上の参加を頂きました。また、報道各社からも取材いただきました。

防災訓練の内容は、強力な寒気団の影響で暴風雪が

続き、市内各所で被害続出という想定で、倒木の恐れがある街路樹を伐採するというものでした。災害活動隊はクレーン車両を使用した伐採作業と重機を使用しない、古来の手法での伐採作業の2班を編成しました。なぜ重機を使用しないか、それは災害によって道路が寸断され車両が被害現場に行けない事を想定していることです。まず、1日目には連絡体制の確立、作業手順の確認など机上でのシミュレーションを実施しました。

その際、東北電力から電線、トランスなどについての説明や長岡警察署から車線の規制方法、歩行者の安全確保など、専門的なご指導を頂き、大いに勉強になりました。2日目は、災害本部を設置し、実際に連絡を取り合っ情報収集と指示伝達を行い、本番さながらの緊張感のもと、訓練場所へ向かいました。災害本部でも、長岡市職員との協議、関係機関との連絡や被害状況の整理など実際の活動に則した対応をおこないました。訓練場所では、前日の机上訓練の成

果を踏まえ、実在の街路樹の伐採です。安全で、しかも早く、的確に作業するため、隊員同士が声を掛け合い、心を一つに作業に当たりました。

災害時に対応した訓練は今回が初めての試みでしたので、安全面、施工面、など様々な問題がありましたが、よりよい訓練にしようとして新井委員長を中心に計画をまとめあげたと思います。また、前日の机上訓練では施工手順、人員の配置など、隊員一人一人が自覚をもって準備をし、万全を期して当日を迎えました。その結果、無事故で、効率よく訓練を進められたと思います。

また、地域住民の皆様にはご理解とご協力を頂き、大変有難う御座いました。感謝申し上げます。最後に、防災委員会諸氏のご尽力により、大変意義のある、合同防災訓練となりました。最初でこそこの訓練ができたのですから、今回の経験を生かし、今後はますます充実した訓練を計画し、我々にしかできない防災体制づくりを推進したいと思えます。

果を踏まえ、実在の街路樹の伐採です。安全で、しかも早く、的確に作業するため、隊員同士が声を掛け合い、心を一つに作業に当たりました。

安全講習会

19・2・19 ハイブ長岡

造園工事に於ける安全意識高揚のため、今年度は日ごろの作業体験を基にワークショップ形式で講習会が開催されました。

- 1班 高所作業に於ける安全管理
- 2班 重量物の運搬、据付作業に於ける安全管理
- 3班 健康管理面からの安全管理

各分野の現場で、実際に行動する際の危険ポイントを分析し合い、安全性を如何に確保するかの対策を検討しました。

最後に、竹見委員長の総括の後安全宣言が発表されました。

広川

